

渡辺市長(右)に義援金を手渡す作間社長(中)と横山会長(市役所で)



## 熊本地震義援金を日赤に

技工団と技工団労働災害防止協力会

山口市緑町の建設業、技工団(作間悦次社長)と、同社の協力事業所約100社で構成する技工団労働災害防止協力会(会長・横山省吾サンヨー宇部社長)は1日、熊本地震義援金として、日本赤十字社山口市地区に50万円を贈呈した。

作間社長と横山会長が市役所を訪れ、地区長の渡辺純忠市長に目録を手渡した。作間社長は「被災地に縁のある社員も多いため。早く熊本に元気になつてもらいたい」、横山会長は「被災された方たちの一日も早い復旧復興を祈念している」と語った。

渡辺市長は「地震から100日が経過し、新しい支援が必要となつてくる時期。義援金と一緒に、気持ちも届けたい」と感謝した。(岩本)

宇 部 日 報

2016年〈平成28年〉

8月2日 火曜日